

令和5年度 第1回旭川市社会教育委員会議 議事録

日時	令和5年7月27日(木) 午後6時30分～8時
場所	旭川市科学館 学習・研修室
出席者(委員)	岩永委員, 大橋委員, 工藤委員, 郡司委員, 佐藤委員, 佐野委員, 清水委員, 鈴木委員, 中村委員, 猫山委員, 濱中委員, 森峰委員
出席者(職員)	佐藤社会教育部長, 谷口社会教育部次長, 主藤社会教育部次長, 坂本文化振興課長, 松里文化振興課文化ホール担当課長, 西野中央図書館長, 矢萩博物館長, 小島社会教育課主幹, 五十嵐公民館事業課主幹, 中田科学館主幹, 川瀬公民館事業課事業係長, 山崎社会教育課主査, 伊藤社会教育課職員
公開・非公開の別	公開
傍聴者	なし
会議資料	第1回会議次第 資料1 令和5年度 教育行政方針 資料2 令和5年度 社会教育部予算説明資料 資料3 令和5年度 社会教育部事業説明資料 資料4 令和5年度 旭川市社会教育基本計画 点検・評価報告書(原案) 資料5 今後の公民館の運営について(案) 資料6 社会教育関係団体への補助金交付に係る令和4年度報告 と令和5年度の申請状況について 資料7 旭川市における公民館の位置付けの見直しについて

会議要旨

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 社会教育部長挨拶
- 4 社会教育部職員(課長職以上)紹介
- 5 議事
 - (1) 令和5年度 旭川市社会教育基本計画 点検・評価について

議長	はじめに, 令和5年度 旭川市社会教育基本計画 点検・評価報告書について, 事務局から説明してください。
事務局	(資料4に基づき説明)

議長	<p>基本目標ごとに意見をいただくということによろしいでしょうか。</p> <p>では、まず、基本目標1について、報告書に掲載されているグラフから、コロナ前やコロナ禍の状況がはっきりと読み取れると思いますが、そこから導いた今後の方向性も含めて、意見や質問はありますか。</p>
委員	<p>4ページの「2 身の回りや地球規模での資源・環境問題への理解の促進」にある自然観察会参加者数のグラフを見ると、コロナ禍であっても、野外活動への参加希望者が多いことが分かります。コロナが収束したとはいえ、まだまだ家にこもりがちの方もいますので、子ども向けだけでなく、大人向けの野外活動についても推進してほしいと思います。</p>
議長	<p>御意見ということで承ってよろしいですか。</p>
事務局	<p>はい、ありがとうございます。</p>
議長	<p>基本目標1について、他に意見等がなければ、次に、基本目標2について、質問や意見はありますか。</p>
委員	<p>10ページの彫刻美術館（ステーションギャラリー）のグラフについて、注意書きに「彫刻美術館は、計画策定時に本館休館中のため、ステーションギャラリーの入館者数」とあるが、2017年に利用が再開された本館の利用者数は、グラフには反映されていないという理解でよろしいですか。</p>
社会教育課主幹	<p>成果指標は、計画策定時に、12年間の長期的な変容を見取るために設定したものです。計画策定時に本館が休館していたため、指標としては、ステーションギャラリーの入館者数を設定しており、本館の入館者数は設定していません。</p>
委員	<p>本館が開館した際に、本部的な機能は本館に移行していると思うので、可能であれば、指標も本館の入館者数に移行すべきだと思います。</p>
社会教育課主幹	<p>成果指標は、長期的な変容を見取るために設定したもので、変更することは難しいと考えておりますが、本館の入館者数については、次年度以降の報告書に掲載することを検討します。</p>
委員	<p>10ページの科学館のグラフのタイトルが「図書館の貸出利用者数」となっていますので、修正した方がよいと思います。</p>
事務局	<p>御指摘ありがとうございます。修正いたします。</p>
委員	<p>私の感想としては、とても良かったと評価したいと思います。</p>

	<p>す。昨年度の同報告書では、前年度実績値との比較が全て下向き（減少）でしたが、今年度も未達成ではありますが、矢印が上向き（増加）になっており、コロナが収束して市民の関心が「学び」に向いてきているのだと思います。今後の方向性も示されていますので、次年度の更なる向上に期待します。</p>
議長	<p>御意見として承りました。</p> <p>新型コロナは完全には収束していませんが、人々の活動が活発になり、「学び」も従来の形に戻ろうとしている中で、人々の心の変化や行動を捉えて、「学び」を推進するために、どのような仕掛けを行っていくのか、また、ボランティアの減少や施設の整備・充実等の課題に対し、限られた予算の中でどのように進めていくべきなのか、知恵を絞って取り組んでいただけたらと思います。</p> <p>基本目標2について、他に意見等がありますか。</p> <p>なければ、続いて、基本目標3について、質問や意見はありますか。</p> <p>16ページの「旭川彫刻サポート隊」については、ボランティアが高齢化し、人数が少なくなっているとの報道もありましたが、他のボランティアについても、おそらく同じ状況なのではないかと思います。</p> <p>ボランティアの減少は、学びの循環に影響するので、ボランティアの確保について、積極的に取り組んでいただきたいと思っています。</p>
委員	<p>議長が言われるとおおり、ボランティアの減少については、私も気になっているところです。昨年度行った社会教育基本計画の見直しにより、点検・評価報告書の内容も変更されるものと思いますが、ボランティアの事業回数だけでなく、活動事例を示すことは難しいのでしょうか。</p>
社会教育課主幹	<p>指標として示すのは難しいと思いますが、次年度以降の報告書で、取組の状況として、いくつか活動事例を記載したいと思っています。</p>
委員	<p>佐久間先生からも広報活動を重点的に行うよう指摘があったので、ボランティアの活動を紹介してほしいと思います。</p>
議長	<p>18ページの20歳を祝うつどい実行委員の担い手について、新設された旭川市立大学の学生の参画に対する働きかけは行いましたか。新たな取組はありますか。</p>

社会教育課主幹	<p>これまでどおり，大学にポスター等を掲示していただいたり，つながりのあるゼミに依頼したりしていますが，体系的な取組は行っていないので，どのような連携ができるのか検討したいと思います。</p>
議長	<p>市民の願いで誕生した大学なので，市と大学が連携して，大学生と市民の双方が育っていくような関係を構築してもらえればと思います。</p>
議長	<p>では，基本目標4に移ります。 質問や意見はありませんか。</p>
委員	<p>市民ギャラリーについて，駐車場が有料で市民が利用しづらい状況なので，幅広く利用してもらうために，無料駐車場を確保してほしいです。</p>
議長	<p>御意見として承りました。 続いて，基本目標5について，質問や意見はありますか。 全体を通しての御意見でも構いません。</p>
副議長	<p>語尾表現についての確認ですが，特に「課題と改善に向けた今後の方向性」では，「模索をする」，「検討する」，「実施していく」，「周知する」等，後ろ向きな表現と前向きな表現の違いがありますが，何か意味はありますか。予算との関わりもあると思うので，確認させていただきました。</p> <p>また，的外れな意見かもしれませんが，報告書の項立てについて，学識経験者の意見とそれに対する教育委員会の考え方が第2章の報告の後に第3章として記載されていますが，本来は，学識経験者の意見は報告の内容に反映されるべきだと思います。参考資料として掲載されていれば，さほど違和感はないので，修正が可能であれば，検討していただきたいと思います。</p>
社会教育課主幹	<p>語尾表現について，現段階で実施が決まっているものは「実施する」，「周知する」などと表現していますが，実施が決まっていないものについては「検討する」などと表現しています。</p> <p>項立てについては，学校教育部と共に報告書を作成しているので，御意見として承り共有したいと思います。</p>
議長	<p>23 ページの公民館の取組について，語尾が「検討していく必要があります」となっていて，第三者の意見のように感じるので，主体的な言葉になるよう検討してください。</p>
委員	<p>基本目標1～5に共通して言えるのは，新型コロナにより事業が縮小され，参加者数に制限がかけられたり，回数が減らさ</p>

	<p>れたりした実態がある中で、事業に魅力がないとかニーズに合っていないといった判断をすることは難しいのではないのでしょうか。新型コロナをきっかけに、人々の学ぶ意欲が減退し、これはすぐには回復しないと思いますので、現在は感染対策等を万全にして事業を開催し、回復を目指すことが重要だと思います。</p>
議長	<p>御意見として承ります。</p> <p>来年度の点検・評価報告書は、昨年度、私たち社会教育委員が検討した社会教育基本計画の見直しが反映され、事業の内容にも関わるような報告がなされると思います。</p> <p>今年度と来年度の報告書を見比べながら、意見を出すのが良いと思うので、よろしくお願いします。</p>

(2) 今後の公民館の運営について

議長	<p>今後の公民館の運営について、事務局から説明してください。</p>
事務局	<p>(資料5及び資料7に基づき説明)</p>
議長	<p>ただ今の説明について、意見等はありませんか。</p> <p>現状を踏まえて、今までのとおり公民館を運営していこうということですね。老朽化した建物をなくすことは避けられないという前提で、公民館という建物がなくなっても、公民館活動は維持できるような答申内容としました。</p> <p>ただ、公民館で活動中に建物が壊れて、利用者が怪我をしまったというのは一番避けなければなりませんので、建物の点検・整備をしっかりと実施してほしいと思います。</p>
事務局	<p>議長のお話しにもあったとおり、老朽化している施設もありますが、限られた予算の中で、公民館の機能を維持していきたいと考えておりますので、皆さんから助言いただきたいと思っております。</p>
委員	<p>公民館以外にも地区センターや住民センター等たくさんの施設がありますが、違いをよく分かっていません。ただ、人と人との関係が希薄になっている中で、人と人が寄り合う場所として非常に重要だと思います。このような施設は、地域の世帯数や年齢層に応じた適正配置を行うべきで、老朽化したから壊したけれど、代替施設はないということにならないよう、行政が将来の見通しを含めて検討すべきだと思います。</p>
議長	<p>御意見ということで承りました。</p>

6 報告

- (1) 社会教育関係団体への補助金交付に係る令和4年度報告と令和5年度の申請状況について

議長	社会教育関係団体への補助金交付に係る令和4年度報告と令和5年度の申請状況について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料6に基づき事務局から説明)
議長	何か意見等がありますか。
委員	「優佳良織伝承の会」への補助金の活用について、点検・評価報告書には2名が技能を習得したとありますが、どのような内容なのでしょう。
事務局	優佳良織の技術伝承・人材育成事業となっており、本市の貴重な工芸技術である優佳良織の織り・染色・紬技術の再生と、それらを行う人材育成活動に対しての補助金であり、主に織子の人件費です。
委員	織子は何名いるのですか。
事務局	指導者が1名、技能を習得中の方が2名の計3名です。
委員	それでは3名の人件費となりますね。 現在の織子の2名がやめてしまったら、どうなりますか。
事務局	独立したということであれば、技術が傳承されていますから、そちらの方向に進んでいってほしいと思っておりますが、様々な事情がありますので、やめられるという可能性もゼロではないと思います。
委員	点検・評価報告書にリスクリングのことも記載されていましたが、地域の技術を有効活用するために、新規開拓、新しい人材を育成していく必要があります。発展性のある事業になるようなサポートがあると良いと思います。
事務局	補助金を交付して終わりではなく、技術が継承されることが重要です。現在の織子の技術は年々向上していますが、裾野が広がるような、例えば、製品の販売につながるような支援も考えていく必要があると認識しています。
議長	3名の方も自覚を持って活動されていると思いますが、さらに未来があるような形になればと思います。

7 その他

8 閉会